



ゆめしま
夢洲からの報告

— 大阪湾岸における生物多様性保全をめざして —

公益社団法人 大阪自然環境保全協会
夢洲生きもの調査グループ

磯上 慶子



夢洲

-ゆめしま-

大阪市に二ヶ所だけ存在する
生物多様性ホットスポット、最重要の Aランク
(大阪府レッドリスト2014)

隣接する咲洲 南港野鳥園と共に選定されている。

- ・大阪湾**最奥**に位置する埋立てによる人工島。
建設残土、浚渫土砂、家庭ゴミ焼却灰等の廃棄物処分地。
- ・2025年万博開催地、IR予定地
- ・国際コンテナ物流拠点(大阪港夢洲地区)





1区
ヨシ原と小さい池が点在
一部、万博予定地

3区
雨水池と砂礫地
万博とIR予定地

4区 コンテナターミナル

2区(北)
砂礫地
万博予定地

2区(南)
塩性湿地とヨシ原
万博予定地

夢洲 全景
写真撮影2021年

夢洲に関する主なアクション (詳細はHPをご覧ください)

- ・夢洲での生きもの調査および、コアジサシ繁殖保全活動(2019-2022)、
- ・「夢洲の自然環境保全に関する要望及び質問書」(2018)
- ・「購入土砂の投入の中止と生物への配慮を求める要望書」(2019)、他提出
および関係各部局との協議
- ・ コアジサシの保護を求める署名活動(2020)
- ・ 2025関西万博・私たちの環境影響評価準備書(生物多様性編)作成(2021)
- ・ WWFジャパン、日本自然保護協会、日本野鳥の会および野鳥の会大阪支部と
共に関係部局へ要望書(2022)
- ・ 住民監査請求(2022)
- ・ 環境大臣政務官との意見交換(2022)



夢洲は負の遺産ではない。

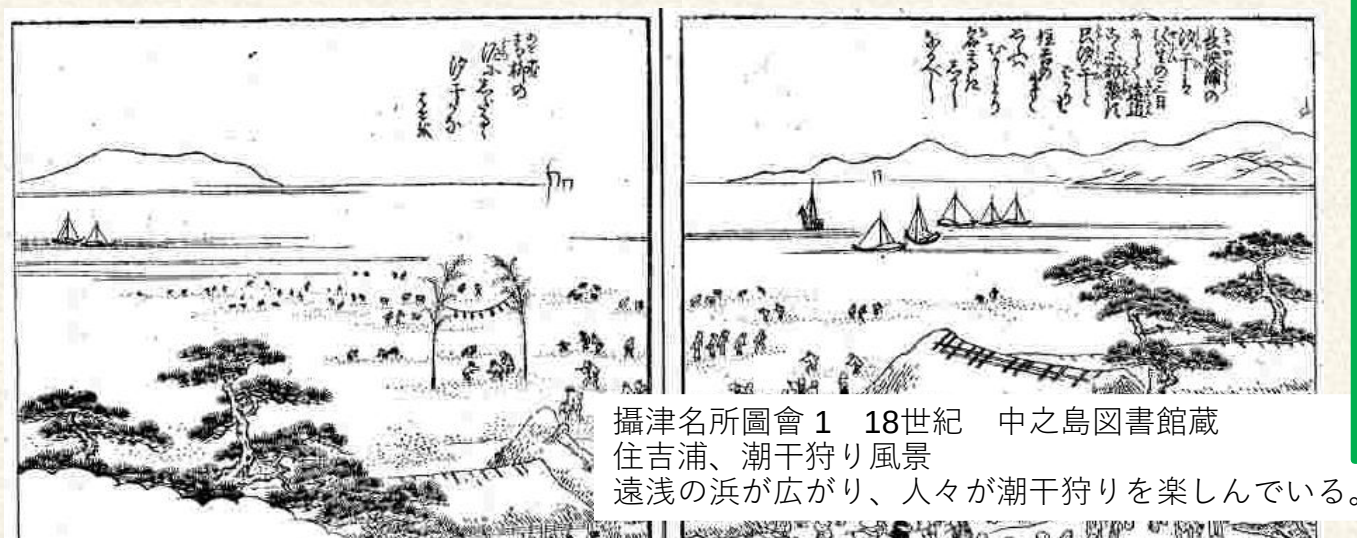
埋立の主目的⇒残土と廃棄物の処分地
数十年をかけて達成、
私たちの役に立ち続けてきた。

その埋立てのために失われたのが、
大阪湾岸最奥、夢洲周辺、
住吉浦近辺を主とした
「潮干狩りの名勝地」「遠浅の海」
住吉模様と称される「白砂清松の砂浜」
そして、古来大阪の原風景といわれる
「広大な干潟とヨシ原」



大阪町中並村々絵図
17世紀

それらはすべて、
大阪湾を、
渡りの主要な移動ルート
とする鳥たちにとって、
いのちを繋ぐ場所だった



攝津名所圖會 1 18世紀 中之島図書館蔵
住吉浦、潮干狩り風景
遠浅の浜が広がり、人々が潮干狩りを楽しんでいる。

世界に9つのフライウェイ（渡り鳥の渡りルート）があるとされ、日本は、東アジア-オーストラリア地域フライウェイ（East Asian-Australasian Flyway）に属する。当フライウェイは、渡り性シギ・チドリ類63個体群のうち、38%が減少傾向にある。渡り性シギ・チドリ類20個体群がIUCNのREDLISTにおいて絶滅危惧種に該当。最も絶滅危惧種が多く、人口の多い地域で、急激な生息地の消失が危惧される。水鳥に関する生態情報は少ない。

出典：
シギ・チドリ・湿地の統合サイト Shorebirds Stepping Stones
赤線、上部()は当方による付加



99%が失われた 大阪湾の干潟と自然海岸



出典:大阪府/大阪湾沿岸海岸保全基本計画

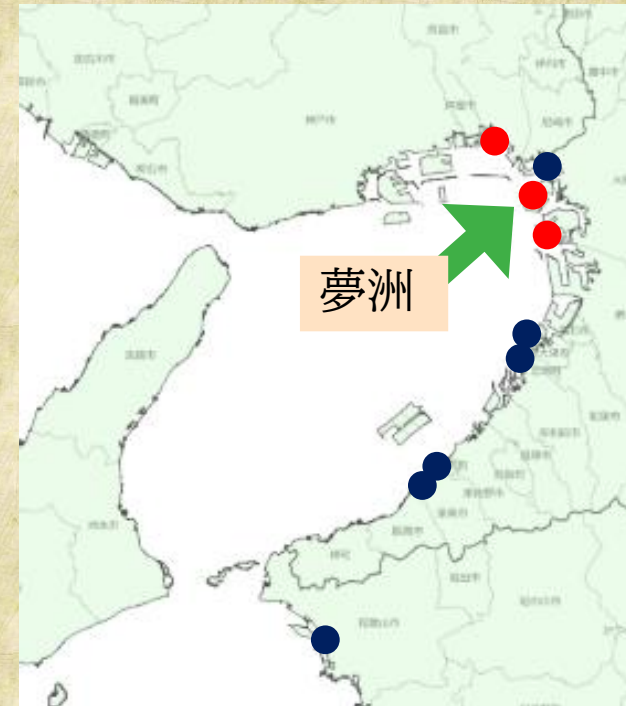
環境省レッドリスト絶滅危惧II類に指定されるシロチドリ（←）は、夢洲を代表する鳥種の一つ。

夢洲は特別な場所

2004-2021年の環境省シギ・チドリ調査での記録種数と季節最大個体数合計

	種数	最大個体数 合計	面積
夢洲	51	3924	<390ha
南港野鳥園	51	2917	12ha
浜甲子園	29	1186	12ha
矢倉海岸	16	378	
泉北6区	16	105	
大津川河口	16	252	
檜井川河口	16	135	
男里川河口	18	198	2ha
和歌浦干潟	25	182	35ha
三番瀬	40	4444	140ha
谷津干潟	41	3795	40ha
盤洲	41	1920	1400ha
葛西海浜公園	39	2291	367ha

モニタリング1000シギチドリ調査
最大個体数リスト表より



2025年日本国際博覧会環境影響評価準備書に関する市長意見

〔動物・生態系〕

夢洲では多様な鳥類が確認されていることから、専門家等の意見を聴取しながら、工事着手までにこれら鳥類の生息・生育環境に配慮した整備内容やスケジュール等のロードマップを作成し、湿地や草地、砂れき地等の多様な環境を保全・創出すること

しかし
地盤改良工事で、
生物多様性の核である
ヨシ原が消失！



市長意見の履行を求め
監査請求へ

監査委員会の結論は「棄却」

しかし、下記、意見を得た

(市長意見は)地盤改良工事が実施された後で、
多様な環境を保全、または創出することを求めたものであり、
今後の博覧会協会の取組に委ねられるべきもの



博覧会協会は「市長意見」を護るため、地盤改良工事が終了した現在
「多様な環境を保全、または創出する」ことを求められている。そして
大阪市にも「市長意見」を履行する（させる）責任があるのでは。

南港野鳥園や東京港野鳥園など
は埋立の予定外の用途変更で
作られたものだとか。
夢洲にも適応可能！？

偶然に、失われた大阪湾岸の自然が**夢洲**に再生

夢洲の**30%**にあたる面積に、水辺環境を再興することで、野鳥を軸に生態系が再構築できるポテンシャルをもつことを、今までの調査は示している。

昆明・モンリオール
生物多様性枠組み

・ターゲット 2:

2030年までに劣化した生態系の少なくとも30%で効果的な再生が行われることを確保する。

・ターゲット12:

都市部と人口密集地域の緑地・親水空間を大幅に増加させ、生物多様性に配慮した都市計画を確保する。 (概略・抜粋)

自治体に「ネイチャーポジティブ(生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せようという考え方)」が、求められている。

市域のほぼ全域が人口集中地区である大阪市で自然を再生する場所は、**夢洲**しかない。

大阪市が
自然を再生・拡大
する
大きなチャンス！

理由

- ・ 居住者がおらず、かつ都市部に近い
⇒自然再生に取り組みやすく、子供たちの環境教育の場に利用できる。
- ・ 大阪湾には、自然海岸が1%しか残っていない。
⇒夢洲のわずか30%でも湿地再生され生態系が新たに構築されれば、大阪市、大阪湾にとって貴重な財産となる。
(夢洲390haの30%→=117haは、大阪市の0.52%)
- ・ 大阪湾が主要な移動ルートになっている渡り性水鳥の存在。
⇒先年まで存在した「広大な湿地」と「ヨシ原水辺移行帯」が再生すれば、貴重な休息地、越冬地、繁殖地となる。
- ・ 埋立地自然再生の、日本における先駆け、モデルケースに。
⇒万博開催中・後の利用方法として、世界に誇ることのできるレガシーとなるだろう。



環境の、
特に水環境の多様さが
夢洲の生物多様性を
支えてきた。



ヨシ原・水草茂る池・水深の
深い場所・浅い場所・湿地・
雨水・汽水・砂礫地・草地
それらを復元し



夢洲の自然再生を万博のレガシーに！

夢洲の環境保全活動

および調査の詳細については

大阪自然環境保全協会HP

「夢洲の未来の自然環境のために」を

ごらんください。

<http://www.nature.or.jp/action/yumeshimamirai/>



ありがとうございました

2022年度夢洲いきもの調査活動は、環境再生保全機構 地球環境基金の
助成を受けて行われています。

